

授業概要

「幅広い教養」と「専門的な知識・技能」の修得を通して、学生が有為な人材として育つことを念頭に置き、本講座は、小学校の特別活動の基礎理論、そして実践的指導力を身に付けることを目標にする。特別活動は、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、児童一人一人に自主的、実践的な態度を身に付け、集団や社会における生活での自己実現を図る。全ての教師が関わる教育活動であり、児童の人間形成にとって重要な役割を担う教育活動である。そこで、「特別活動」と関連の深い「総合的な学習の時間」も含めて、学習（授業）計画を立てることにする。指導要領解説を事前に示し、具体的な事例を挙げて、人間形成における特別活動の意義や役割を理解させ、小学校の教育実践に生かす。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（講義内容の概要と留意点） 特別活動の自己経験を振り返り、学習の意義と役割を考える
第 2 回	変化し続ける現代的な課題と特別活動の特質・意義と教育課程上の位置づけと変遷
第 3 回	特別活動での人間形成と話し合い活動：特別活動と総合的な学習の時間との関係を理解する
第 4 回	特別活動と総合的な学習の時間の領域と体験活動の実際とカリキュラム構成を考える
第 5 回	実践事例（1）特別活動と道徳教育、特別活動とキャリア教育
第 6 回	実践事例（2）特別活動と児童指導、特別活動と学級経営、特別活動とクラブ活動
第 7 回	実践事例（3）学級活動の実際
第 8 回	実践事例（4）児童会活動、クラブ活動、学校行事の実際
第 9 回	実践事例（5）指導計画の作成と各学校が定める目標・内容・探究課題
第 10 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（1）目標、体験活動の重視
第 11 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（2）単元・教材構造図と指導計画立案
第 12 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（3）本時案の作成と評価計画の立案
第 13 回	実践事例（6）各教科等との関連を図った実践事例に学ぶ
第 14 回	実践事例（7）地域・伝統領域の実践事例に学ぶ
第 15 回	課題設定と課題解決に基づく個別研究のまとめ
第 16 回	筆記試験の実施：特別活動の基礎理論と実践的指導力を深める

到達目標

- ・現代的な課題と探究的・体験的学習活動として、特別活動の領域の意義を理解することができる。
- ・子どもの問題解決と探究的・体験的学習活動の理解を深めることができる。
- ・特別活動の授業づくりと実践的指導力・評価力を獲得することができる。
- ・特別活動の実践的カリキュラムづくりをアクティブラーニングによって開発することができる。

履修上の注意

教職履修の必修科目として、資格・免許状取得（教職・学芸員・司書）のための知識や技術、社会に貢献する力を身に付けます。教職に就くために、理論とともに生きてはたらく実践力を学ぶことをふまえて、受講生が積極性と熱意をもって参加されることを期待しています。遅れてのレポート提出は受け付けませんが、受講には実践力を育成するため、遅刻は原則認められません。事由を相談してください。

予習・復習

- ・予習：配布資料を読み、課題を調べ、課題意識をもち整理する。
- ・復習：配布資料、講義から授業内容を振り返り、小レポートを提出する。

評価方法

- ・特別活動の理論と実践の理解度（20%）
- ・特別活動の教材構造と指導計画の実践的な作成（40%）
- ・特別活動の指導案作成（40%）

テキスト

小学校「学習指導要領解説・特別活動編」（文部科学省最新版）・その他、配布資料

授業概要

「幅広い教養」と「専門的な知識・技能」の修得を通して、学生が有為な人材として育つことを念頭に置き、本講座は、中学・高校の特別活動の基礎理論、そして実践的指導力を身に付けることを目標にする。特別活動は、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、生徒一人一人に自主的、実践的な態度を身に付け、集団や社会における生活での自己実現を図る。全ての教師が関わる教育活動であり、生徒の人間形成にとって重要な役割を担う教育活動である。そこで、「特別活動」と関連の深い「総合的な学習（探究）の時間」も含めて、学習（授業）計画を立てることとする。指導要領解説を事前に示し、具体的な事例を挙げて、人間形成における特別活動の意義や役割を理解させ、中学・高校の教育実践に生かす。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（講義内容の概要と留意点） 特別活動の自己経験を振り返り、学習の意義と役割を考える
第 2 回	変化し続ける現代的な課題と特別活動の特質・意義と教育課程上の位置づけと変遷
第 3 回	特別活動での人間形成と話し合い活動：特別活動と総合的な学習（探究）の関係を理解する
第 4 回	特別活動と総合的な学習（探究）の時間との体験活動の実際とカリキュラム構成を考える
第 5 回	実践事例（1）特別活動と道徳教育、特別活動とキャリア教育
第 6 回	実践事例（2）特別活動と生徒指導、特別活動と学級経営、特別活動と部活動
第 7 回	実践事例（3）学級活動・ホームルーム活動の実際
第 8 回	実践事例（4）生徒会活動、部活動、学校行事の実際
第 9 回	実践事例（5）指導計画の作成と各学校が定める目標・内容・探究課題
第 10 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（1）目標、体験活動の重視
第 11 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（2）単元・教材構造図と指導計画立案
第 12 回	特別活動の指導計画と指導案を立てる（3）本時案の作成と評価計画の立案
第 13 回	実践事例（6）各教科等との関連を図った実践事例に学ぶ
第 14 回	実践事例（7）地域・伝統領域の実践事例に学ぶ
第 15 回	課題設定と課題解決に基づく個別研究のまとめ
第 16 回	筆記試験の実施：特別活動の基礎理論と実践的指導力を深める

到達目標

- ・現代的な課題と探究的・体験的学習活動として、特別活動の領域の意義を理解することができる。
- ・子どもの問題解決と探究的・体験的学習活動の理解を深めることができる。
- ・特別活動の授業づくりと実践的指導力・評価力を獲得することができる。
- ・特別活動の実践的カリキュラムづくりをアクティブラーニングによって開発することができる。

履修上の注意

教職履修の必修科目として、資格・免許状取得（教職・学芸員・司書）のための知識や技術、社会に貢献する力を身に付けます。教職に就くために、理論とともに生きてはたらく実践力を学ぶことをふまえて、受講生が積極性と熱意をもって参加されることを期待しています。遅れてのレポート提出は受け付けませんが、受講には実践力を育成するため、遅刻は原則認められません。事由を相談してください。

予習・復習

- ・予習：配布資料を読み、課題を調べ、課題意識をもち整理する。
- ・復習：配布資料、講義から授業内容を振り返り、小レポートを提出する。

評価方法

- ・特別活動の理論と実践の理解度（20%）
- ・特別活動の教材構造と指導計画の実践的な作成（40%）
- ・特別活動の指導案作成（40%）

テキスト

中・高「学習指導要領解説・特別活動編」（文部科学省最新版）・その他、配布資料